



SDGs時代の パートナーシップ

～未来共創新聞を練り上げる～
@ZOOM

2021年12月18日(土)

佐藤真久

東京都市大学大学院 教授

m-sato@tcu.ac.jp / masahisasato@hotmail.com



③ 動的で包括的なSDGsへ
(価値共創・問題解決ツールとしてのSDGs)

② 相互関連のSDGsへ
(複雑性の発見)

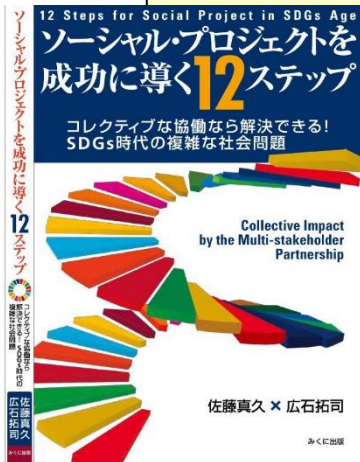
① 個々のSDGへの
タグ付けから
(目標対応型)



自身の限界を知る
→ともに相手の力を持ちよる



- ① 解決策を急いでも、そもそもの**問題が見えていない**
- ② “**流行り**”のトピックばかりに注目が集まる
- ③ **似た背景の人同士**が集まり、発想が行き詰まる
- ④ NPO、行政、企業で**価値観が違うので組めない**
- ⑤ 同じテーマに取り組む**人同士の覇権争い**
- ⑥ **悪いところを指摘しあい、ルールや報酬の曖昧さ**などが生む不信
- ⑦ **主導権争い、組織からの制約**
- ⑧ 立ち上がりは盛り上がるが**続かない**
- ⑨ 継続することが目的となり、**マンネリ化**してしまう



■多様な協働の形態(事業協働、戦略協働、政策協働)

[事業協働・連携]

- (1)共同で一つの事業を行う協働の形態(共催)
- (2)「後援」という形で取組に名を連ねること。主に金銭的支出を伴わない協働の形態(後援)
- (3)それぞれの特性を活かし、一定期間継続的に協力して事業を行う協働の形態(事業協力)
- (4)独自の企画や代案をみんなで提案する協働の形態(企画立案)
- (5)新しい一つの組織を立ち上げ、そこが主催者となって事業を行う協働の形態(実行委員会)
- (6)協働事業や課題に関して情報交換や意見交換を行う協働の形態(情報提供・情報交換)
- (7)優れた特性をもった組織に契約をもってゆだねる協働の形態(委託・指定管理者制度)
- (8)公益上必要があると認めた場合、行政が公金を支出する協働の形態(補助・助成)

[戦略協働]

- ・共有目的を実現するために戦略的に協働(戦略協議など)を行う形態(戦略協働)

[政策協働]

- ・共有目的を実現するために行政と政策的に協働(政策提案など)を行う形態(政策協働)

せんだいみやぎNPOセンター(2007)に基づき筆者加筆修正



[学校]

“児童生徒の未来”

キーワード: 社会に開かれた教育課程、育成を目指す資質・能力、探究、対話的・主体的・深い学び、持続可能な社会の担い手、学社連携、校種間連携、能力・態度、開発型知性／制御型知性、人格形成、社会的・情動的知性(思いやり、共感、マインドフルネス、批判的探究)、ホールスクール・・・

[学術・研究機関]

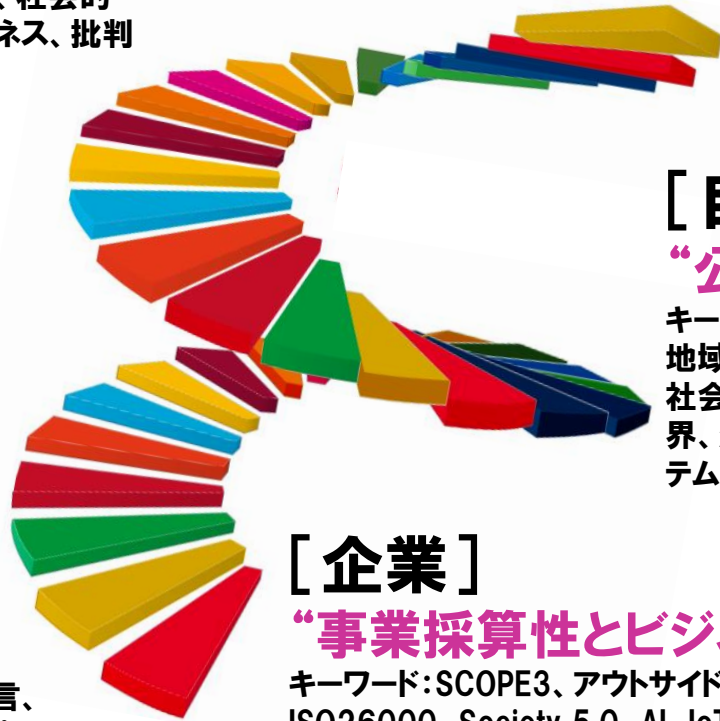
“高等教育と研究の深化”

キーワード: 研究・教育における国際化、研究開発、問題解決能力、THE大学インパクト・ランキング・・・

“持続可能な社会”



中長期的な機会とリスク
求められる“変容”



[地縁組織]

“地域の未来”

キーワード: 住民自治、小規模多機能自治、コミュニティの崩壊、少子高齢化、世代間コミュニケーション、社会教育・・・

[自治体]

“公平性と社会的包摂”

キーワード: 社会生態モデル、政策協働、地域の社会課題、脆弱な財政基盤、老朽化する社会インフラ、自然災害、少子高齢化、NPMの限界、消滅自治体、学習する都市、包括的ケアシステム、市民参加から行政参加へ・・・

[NPO/NGO]

“当事者への寄り添い”

キーワード: グローカルな社会課題、政策提言、社会課題解決、価値創造、パートナーシップ、参加のしやすさ、協働のしやすさ、貧困・社会的排除問題、地球環境問題、人権に基づくアプローチ、主体形成・・・

[企業]

“事業採算性とビジネス・モデル”

キーワード: SCOPE3、アウトサイドイン、バリューチェーン、労働環境、ISO26000、Society 5.0、AI、IoT、国連グローバルコンパクト、SDGsコンパス、経営統合、マテリアリティ、地域企業、100年企業、競争から共業へ、競争から共創へ、製品開発／価格戦略／市場開発／販促・コミュニケーション、KPI／OKR、統合報告、共用品推進、財務／非財務、ESG投資



ありたい姿



革新性

ありたい姿から
イメージする

①デザイン思考

ありたい姿のアイデアを
創出し、ありたい姿において
どのように協働しているかを
イメージし、逆算して考える

福山未来共創新聞

3年後の未来像

- ・ 5W1H
- ・ 大見出し(結果)
- ・ SDGsの本質(同時解決性、力を持ち寄る協働、変容、好循環のしくみ)

現在の姿を認識し、
現在有している資源・機会・能力を持ち寄り、どのように課題を統合的に解決すればいいの
かを論理的に考える

②システム思考

実現可能性

互いの力を活かし、
ありたい姿へ近づく

現在の姿



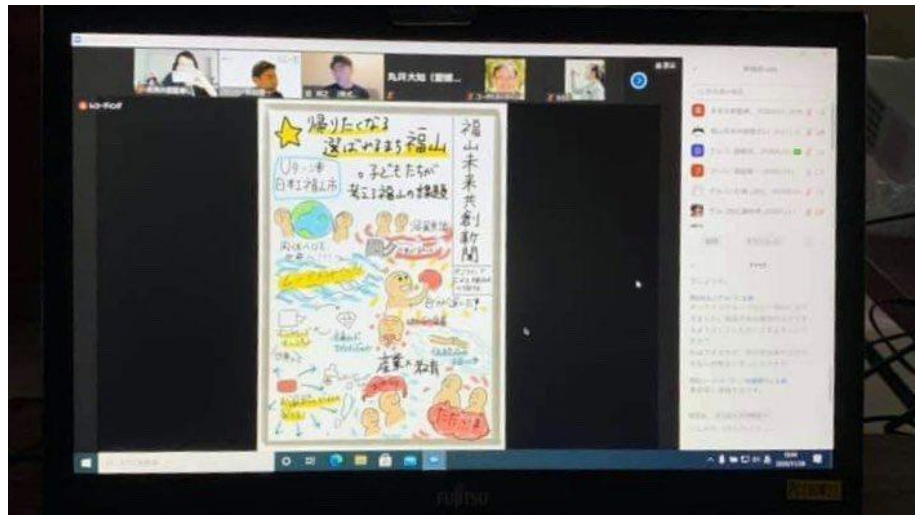
2020年度の未来新聞(福山未来共創新聞)の作成風景

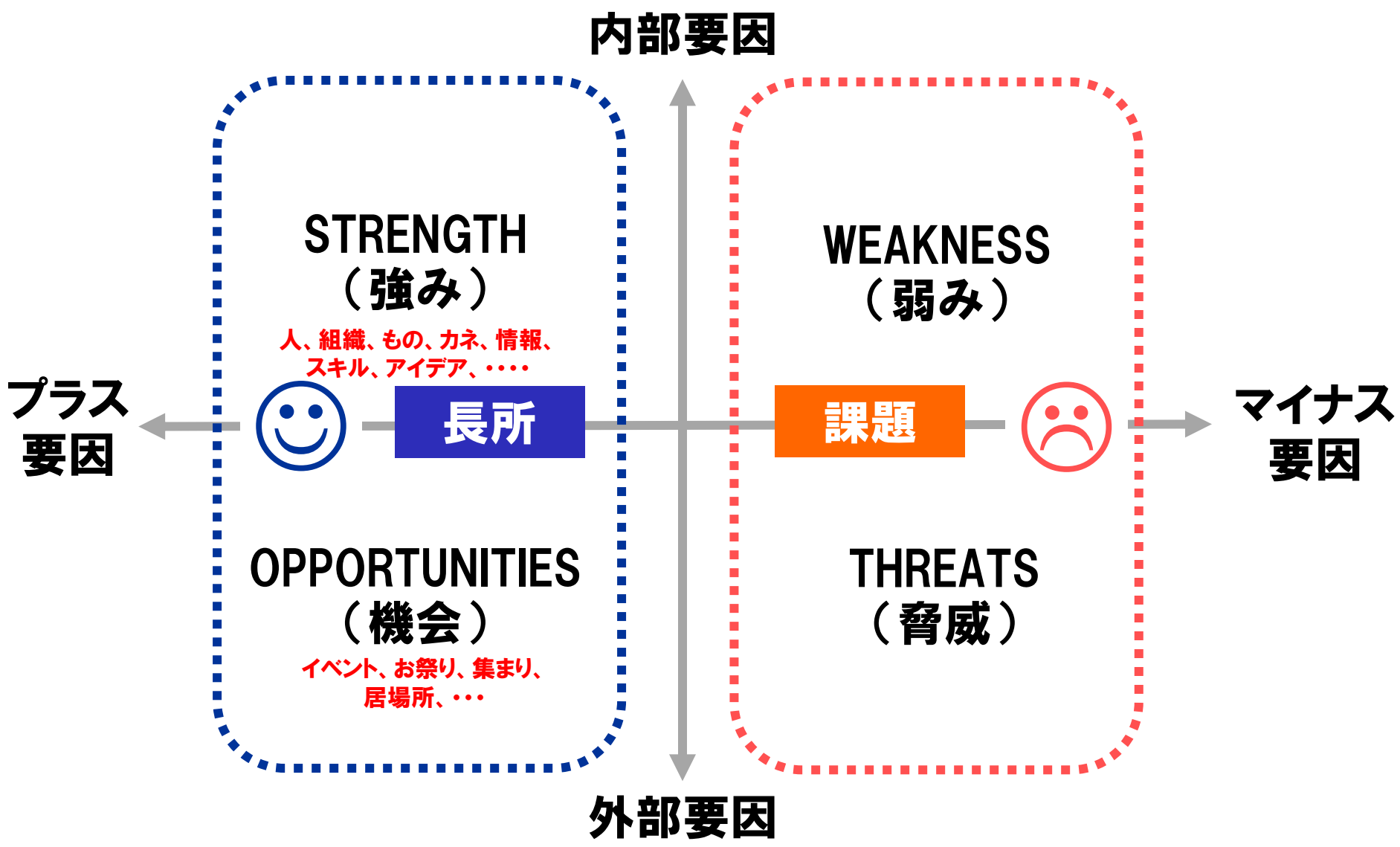


2020年度の未来新聞(福山未来共創新聞)の作成風景

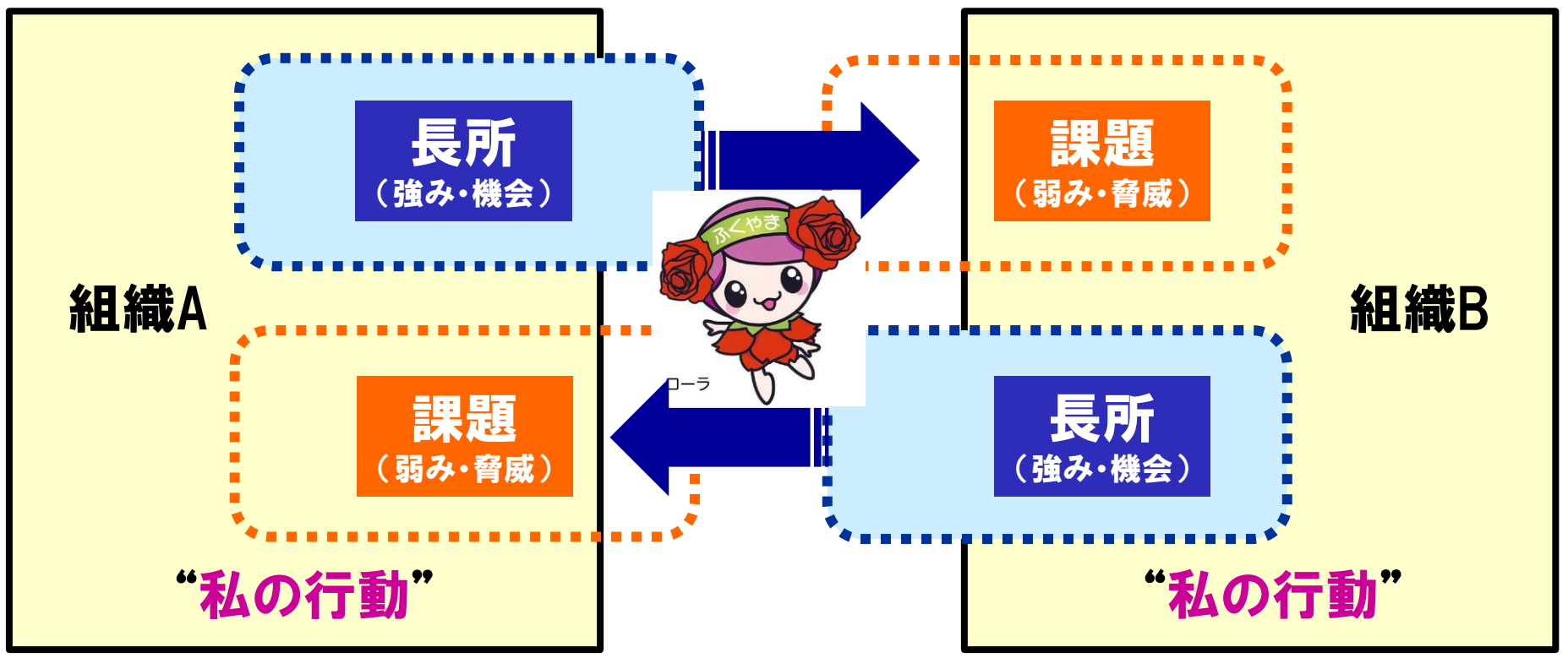


2020年度の未来新聞(福山未来共創新聞)の作成風景

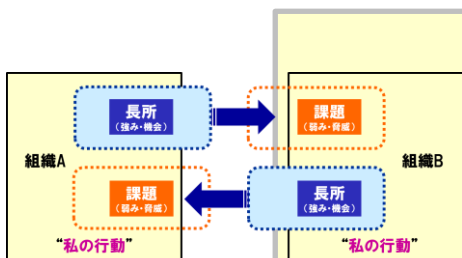




お互いの長所と課題の組み合わせ ～力を持ち寄る協働による課題解決



力を持ち寄る協働
“私たちの協働”



力を持ち寄る協働
“私たちの協働”

地域の社会課題解決



①長所(強み・機会)、課題(弱み・脅威)を出し合い、
力を持ち寄ることで、社会課題解決につなげる。

→「私の行動」から「私たちの協働」への発想の転換
→求援力・受援力の発揮

②立場・所属が異なれば、異なる動機がある。初めから
すべての合意形成をせず、星を見る。

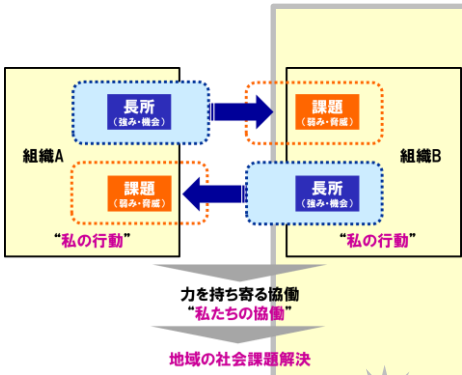
→「向き合い型の協働」から「星見型の協働」への発想の転換

③未来に向けて、他者と力を持ち寄ることによって、
社会課題解決に貢献するストーリーを記事にする。

→(5W1H)誰が誰と、どのように、なぜ、だんだんとどう変化してきたか、何をしたか、どう変わったか？

→大見出し、写真・図を挿入

→大見出しは結果！(10文字以内)



①SDGsの特徴:

- 複雑な問題への対応(同時解決性、テーマ統合性)
- 社会包摂的世界観
- 地球惑星的世界観
- 変容の世界観

②SDGsの本質:変容

- 変化(リスクと機会)を先取り、今できることで投資的に動く

③そのほか配慮事項:

- 日本の社会課題との関連づけ、内発的動機(SDGsの自分ごと化)
- 目標としてのSDGs、ツールとしてのSDGs
- 外から目線(アウトサイド・イン)
- 星見型の協働(ビジョン構築、バックキャスト、異質性の協働)
- ストーリー(協働・学習プロセス、個人と社会の変容)
- 問題解決の姿(社会生態系の構築)
- 求援力と受援力





②実現可能性
3年後の実現が
具体的で可能か？

②システム思考

実現可能性

互いの力を活かし、
ありたい姿へ近づく

福山未来共創新聞

3年後の未来像

- 5W1H
- 大見出し(結果)
- SDGsの本質(同時解決性、力を持ち寄る協働、変容)

ありたい姿



革新性

ありたい姿から
イメージする

①デザイン思考

①革新性

SDGsの本質に
対応しているか？

現在の姿

